

|       |             |
|-------|-------------|
| 普及項目  | 流通、地域振興     |
| 漁業種類等 | —           |
| 対象魚類  | —           |
| 対象海域  | 有明海、八代海、天草海 |

## 稼げる水産業に向けた取組み

天草広域本部水産課・藤堂 美咲

### 【背景・目的・目標（指標）】

稼げる水産業の実現に向けては、地元市町と連携し、漁業者や漁協による 6 次産業化の取組みを推進するとともに、流通業や加工業等の民間企業と協力し、水産物の販売促進及び消費拡大に繋げることが重要である。

天草漁業協同組合（以下「天草漁協」という。）では、地域と連携したイベントの開催を通じて、天草産水産物の PR 及び販売事業の強化による漁家所得向上に取り組んでいる。

そこで、天草産水産物の更なる認知度向上及び消費拡大に繋げることを目的に、関係機関と連携して、天草漁協が実施する 2 つのイベントの開催支援を行った。

### 【普及の内容・特徴】

#### （１）あまくさエビリンピックの開催支援

実施日：令和 7 年（2025 年）10 月 4 日

場 所：宮津海遊公園（上天草市大矢野町）

運営者：天草漁協職員、上天草市役所職員、天草広域本部水産課職員

概 要：天草漁協が開催したエビリンピック（宮津湾の一部を仕切り、その内側にクルマエビを放流して一般客にクルマエビのつかみ取りをさせ、その量を競う大会）について、天草漁協や上天草市と連携し、開催に向けた事前打ち合わせや当日の運営補助を行った。

今回の応募者数は 2,195 名であり、当日は抽選で選ばれた 794 名（大人 593 名、子供 201 名）が出場した。平成 27 年（2015 年）の開始当時の応募者数 936 名に比べて 2.35 倍に増加しており、地域に定着した人気イベントとなっている。また、応募者のうち 267 名、約 12%は県外からの応募であり、参加者の年齢層も 5 歳から 80 代までと幅広かった。会場では、クルマエビのつかみ取りに加え、各支所によるクルマエビの素揚げや釣り、海鮮バーベキューの販売も行われ、上天草市で盛んに養殖されているクルマエビや天草漁協が取り扱う水産物を広く PR する機会となった。

#### （２）天草おさかな祭りの開催支援

実施日：令和 8 年（2026 年）2 月 1 日

場 所：本渡地方卸売市場周辺（天草市港町）

運営者：天草漁協職員、天草市役所職員、天草広域本部水産課職員、天草地区漁業士会会員

概 要：天草漁協が開催した天草おさかな祭り（天草漁協が本渡地方卸売市場の感謝祭として実施しているイベント）について、天草漁協や天草市と連携し、開催に向けた事前打ち合わせや当日の運営補助を行った。

当日は、海鮮バーベキューや魚の詰め放題、ブリの解体ショー、おさかなク

イズ、模擬セリ、くまモンの来場等、多様な催しを実施され、推定来場者は3,000名となった。また、今回は天草地区漁業士会も出展し、「くまもとの四季のさかな」を題材とした釣りゲームを実施した。子供をはじめとする来場者に対し、楽しみながら天草の水産物に触れてもらうことで、天草水産物のPR及び魚食普及につながった。

#### 【成果・活用】

各イベント情報を掲載した天草漁協ホームページのトップページアクセス数は、令和5年度（2023年度）が141,114件、令和6年度（2024年度）が173,744件、令和7年度（2025年度）が187,781件と年々増加しており、これらのイベント開催支援を通じて、天草水産物の魅力を県内外へ発信することができた。

今後も、漁協・関係市町・漁業士等が連携して、天草水産物に係るPRを推進することとしている。

#### 【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100％）



図1 仕切り網内に駆け込む参加者  
（あまくさエビリンピックの様子）



図2 クルマエビ釣り  
（あまくさエビリンピックの様子）



図3 天草地区漁業士会のブース  
（天草おさかな祭りの様子）



図4 魚（アサリ）のつかみ取り  
（天草おさかな祭りの様子）